

皆様

ご復活、おめでとうございます！ Happy Easter！

緊急事態宣言のなかで、あっという間に復活祭を迎えました。私たちは灰の水曜日の翌日から、公開ミサなどの中止のため信者としてバラバラに散らされて悲しさ寂しさばかりのうちに四旬節を過ごしてきました。残念ながらその季節の節制は復活祭に達しても終わらないでしょう。さらにこんな事態がいつまで続くのかも誰でも分からないでしょう。しかし、復活祭に当たってイエスさまの勝利を祝う私たちが、悲しさや寂しさのなかに閉じ込められてしまうことはあり得ないでしょう。私たちの希望と力はどこにあるのかを皆様と分かち合いたいと思います。まずある素晴らしい聖書の言葉を紹介してみたいと思います。

#### 雅歌（8・6-7）

私を刻みつけてください  
あなたの心に、印章として  
あなたの腕に、印章として。  
愛は死のように強く  
熱情は陰府のように酷い。  
火花を散らして燃える炎。

大水も愛を消すことはできない  
洪水もそれを押し流すことはできない。  
愛を支配しようと  
財宝などを差し出す人があれば  
その人は必ずさげすまれる。

#### 「愛の力」

「<sup>が</sup>雅<sup>か</sup>歌」という書物のヘブライ語の書名は「最上の歌」という意味で、恋の歌で男女の愛を称え祝うものです。一人の著者による詩とする見方もあれば、恋愛歌を編集した歌集との見方もあります。雅歌が男女間の愛だけを描いている歌集にすぎないなら、なぜ聖書に含まれることになったのでしょうか。ユダヤ教は、雅歌が神のイスラエルに対する愛を象徴的に表していると考えてきたからです。キリスト教でも同様の結論に至り、イエス・キリスト（花婿）と教会（花嫁）との関係を象徴していると解釈します。

愛は死のように強く、時間によっても災いによっても殺すことはできず、どんな値段をつけても買うことができません。自由意思によって与えられるものだからです。愛には値段がつかず、最も裕福な王でさえ買うことはできません。愛は神からの贈り物として、そして、神が心の中に与えた指針の中で分かち合われるものとして、受け取るしかないものです。私

たちの配偶者の愛を神からの贈り物として受け取り、私たちの愛が神ご自身から来る完全な愛を反映するものとなるように努力しましょう。

教皇フランシスコは、2020年度の「聖週間」を前にビデオメッセージをおくってくださいました。教皇様は次の様に語っておられます。「今はすべての人にとって困難な時です。多くの方々にとっては、かなり困難な時です。私はそれを知っています。そして、この言葉をもって、私の寄り添いと愛情をお伝えしたく思います。もし、できることならば、今この時をより良く使うようにしましょう。寛大に、近くにいる困窮した人を助けましょう。電話やソーシャルメディアで、最も孤独な人たちに声をかけましょう。イタリアや世界で苦しんでいる人々のために、主に祈りましょう。私たちは隔離されていても、思いと精神は、愛の創造性をもって遠くまで及ぶことができます。今日必要とされること、それは愛の創造性です。」（バチカン、4月12日）

そして、4月11日聖土曜日午後5時、トリノ教区のチェザレ・ノズィリア大司教様は聖骸布を前にして祈りを捧げることを決め、その様子が世界中に同時中継されることになりました。聖骸布は、イエスが、どれほど私たちのように、いえ、私たち以上に、苦しみの時を生きたかを表しているものです。苦しみの中で、イエスが私たちのそばにおられ、私たちと似た者になられたかを証ししています。同時に、それは、死が究極ではないことも私たちに教えてくれます。この祈りの時について説明しながら、ノズィリア大司教様は次のように語っておられます。「聖週間には、私たちのために命を与えてくださったイエスの愛を思い起こして記念しますが、このイエスの愛は、どんな苦しみ、どんな病、どんな感染、どんな試練、どんな落胆よりもはるかに強いものです。何もかも、また誰も、その愛から私たちを引き離すことはできません。なぜなら、彼の愛は、とこしえに忠実な愛であり、決して解かれることのない絆で私たちをイエスに結びつけるからです。聖骸布は、常に私たちの心に向かってその事を語り続けています。『何にも増して強いもの、それは愛です。聖骸布が私たちに示してくれる愛は、最後には、光が落胆や恐れなどの闇に打ち勝ち、死や、人類に襲いかかるあらゆる悪に対して命が勝利を治めることを信じる私たちの支えとなります』と。」

イエスのご復活を目撃した聖ペトロは使徒言行録の中で勇気を持ってユダヤ人に次の様に述べています。「このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。」（2・23-24）

皆様、十字架につけられて死に、死者の中からご復活された方、主イエスが、忍耐強い力、はかり知れない愛、満ちあふれる命の喜びを私たちにお与えくださいますように祈り求めましょう。

改めて、ご復活、おめでとうございます！ Happy Easter！